

# 久里浜の学び舎



H30(2018).12.6

学校だより NO.11

横須賀市立久里浜小学校

校長 木屋哲人

師走に入って、むしろ暖かい日が続いてもいるようです。小春日和も、日数が多いと、有難いというより温暖化に対する心配の方が募ってしまいます。

また、先日は、コンビニ強盗未遂事件への対応、有難うございました。

## 幼小連携・なかよし集会

11月19日(月)、1年生のお祭りがあり、近隣の富士保育園、にじいろコスモス保育園、にじいろポピー保育園の園児を招き、おもてなしをしました。



その午後は、なかよし集会があり、上級生の考えた遊びを下学年の児童が楽しみました。ドロ警をする班、平均台で二手に分かれてジャンケン

をする班、だるまさんが転んだをする班など、様々な遊びをして過ごしました。

1年生にとっては、午前中は園児をもてなし、昼休みは上級生に遊んでもらったような形になります。どちらも生き生きとした子どもたちの笑顔がありました。

## 5年生の稲づくり

今年度は、バケツ稲に挑戦しました。天候の関係なのか、バケツ育ちであるからなのか、ちょっと収穫は例年よりも少なかったようにも見受けられます。



総合的な学習の時間での取組は、いつもうまくいくとは限りません。むしろうまくいかなかった

ことで、農家のご苦労や、食品の有難さがわかればいいのだと思っています。

## 交差点歩車分離で思ったこと

夫婦橋交差点の歩車分離の横断に子どもたちも慣れてきたように思います。しかし、子どもたちが横断している最中に自転車が横切る場面もあります。これは自転車に乗る人のルール違反であることは言うまでもありませんが、歩行者も、「歩車分離だから、歩行者の信号が青になれば車が来ないので安全」ということでは決してないということ意識しておく必要があると思います。

## 久里浜小が避難所になったら

いくつかの教室や様々な部屋の入り口に、「避難者居室」などの表示が貼られました。

11月15日(日)に久里浜小学校区の避難所運営訓練があり、地域の方々が貼っていったものです。



災害により各家屋が倒壊するなどの被害があったとき、本校には、若宮台、久比里、長瀬、久里浜台、久里浜6丁目改良住宅、コーエイマンション、ライフステージの方が避難することになっています。いざというときの掲示ですが、災害時には学校が避難所になるということ、子どもたちもわかっていると思います。

1月の行事予定 (変更になる場合もあります)

1月	「進んで仕事をしよう」	授業時数					
日	学校行事	1	2	3	4	5	6
1	火 元旦						
2	水						
3	木						
4	金 冬季休業終了						
5	土						
6	日						
7	月 中朝会	3	3	3	3	3	3
8	火 給食開始	4	4	4	4	4	4
9	水	5	5	5	6	6	6
10	木 5年生社会科見学(AM) 第1回諸費引き落とし日	5	6	6	6	6	6
11	金	5	5	6	6	6	6
12	土						
13	日						
14	月 成人式						
15	火 B日程	5	5	5	5	5	5
16	水	5	5	5	6	6	6
17	木	5	6	6	6	6	6
18	金 1年3組研究授業(5校時)	5	5	6	6	6	6
19	土						
20	日						
21	月 中朝会 第2回諸費引き落とし日	5	5	5	5	5	5
22	火 委員会⑨	5	5	5	5	6	6
23	水 なかよし班活動(昼休み) 6年生薬物乱用教室(AMキャラバン)	5	5	5	6	6	6
24	木 代表委員会昼	5	6	6	6	6	6
25	金 いじめ防止対策委員会 地域資源回収日	5	5	6	6	6	6
26	土						
27	日						
28	月 校内書写展~2/1	5	5	5	5	5	5
29	火 クラブ⑨	5	5	5	6	6	6
30	水 B日程特別日課 小中一貫教育に関する日	4	4	4	4	4	4
31	木	5	6	6	6	6	6

新年は7日(月)からの登校となります。給食は8日(火)からです。諸費引落しは、10日(木)、21日(月)です。

30日(水)は、小中の授業公開をします。授業を公開する学級以外は給食後の下校となります。

超一流の人物

4年1組の教室に、下のような掲示物が張られていました。

これまで、なぜか記念講演会があると、講師の出迎えとか接待などの分担にあてられることが多くあり、幸か不幸か、著名な方に接する機会が多くありました。

その中で「超一流」という点で記憶に残るのは、宇宙飛行士の山崎直子氏です。山崎氏は私たちににとっては、(名実ともに)雲の上の存在です。それでも私たちに、極めて丁寧に対応してくださいました。その丁寧というのは、言葉遣いだけでなく、表情、仕草など、総じて「物腰」と表現すればいいのかもしれませんが、「あなたのことをとても大切に考えて接していますよ」というメッセージを発しているように感じられ、

それでいて「慇懃」ではなく、さり気ない感じの対応です。「宇宙の限られた空間の中で、多様なスタッフと一定期間過ごしミッションを完遂するためには、超一流のパーソナリティが必要なのか」と、つくづく思いました。

掲示物の論で言うならば、「超一流の人は、人の話を聞いて(人間としての自分を)工夫する」ということなのでしょう。空腹、イライラ、睡眠不足や多忙だったりすると、つつい他の人への対応が雑になっている自分に気づきます。もっともっと工夫が必要なようです。

